

サービスポートのダイレクト接続機能

2015/12/22 09:45 - n-ando

ステータス:	終了	開始日:	2015/12/22
優先度:	通常	期日:	2016/03/25
担当者:	miyamoto	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	30.00時間
対象バージョン:	RELEASE_1_2_0		
説明			
同一プロセス内のデータポート接続において、required i/fがprovided i/fを呼び出すのに、オブジェクトリファレンス経由ではなく、マーシャリングをバイパスサーバントを直接呼ぶようにする機能を実装すること。			

関係しているリビジョン

リビジョン 640 - 2016/02/01 14:18 - miyamoto

[compat,->RELENG_1_2] Direct connect functionality with service ports has been implemented. refs #3408

リビジョン 651 - 2016/02/01 20:14 - miyamoto

[compat,->RELENG_1_2] Direct connect functionality with service ports has been implemented. refs #3408

リビジョン 728 - 2016/10/26 19:10 - miyamoto

[compat,bugfix,->RELENG_1_2] fixed bug. refs #3408

履歴

#1 - 2016/01/14 16:19 - miyamoto

- 期日を2016/03/25にセット
- 担当者をmiyamotoにセット
- 対象バージョンをRELEASE_1_2_0にセット
- 進捗率を0から50に変更
- 予定工数を30.00時間にセット

#2 - 2016/01/14 21:45 - miyamoto

CorbaConsumerクラスの_ptr関数を変更した。
_ptr関数の動作の手順を説明する。

後述するが、reference_to_servant関数でサーバントが取得できたときに以下の変数_sevに格納する。

このため_sevにサーバントが既に格納している場合は_sevを返す。

if self._sev is not None:

return self._sev

以下のコードではオブジェクトリファレンスをサーバントに変換し、変換に成功した場合は_sevに格納して返している。変換に失敗した場合は従来通りオブジェクトリファレンスを返す。

```
try:
mgr = OpenRTM_aist.Manager.instance()
self._sev = mgr._poa.reference_to_servant(self._var)
if self._sev is not None:
return self._sev
except:
return self._var
```

変数宣言のためにコンストラクタにもコードを追加した。

#3 - 2016/03/17 11:01 - miyamoto

- 進捗率を50から100に変更

#4 - 2017/08/30 14:19 - n-ando

- ステータスを新規から終了に変更